



SDGs に向けた取組(2年生)

12月11日(月)に大学生を講師に招いて、2年生がSDGs講座を受けました。ご承知の通り、SDGsは17の「持続可能な開発目標」のことです。世界で起きている貧困や環境問題などを解決するための目標です。右のようなことを、小さい頃から意識しておくことは、大事なことなので今回の学習を実施しました。低学年には少し難しい内容ではありますが、大学生が分かりやすく説明してくれました。



17の目標すべてを扱うことができなかつたので、食べ物のことや身の回りのことを中心に考えました。自分にできそうな

- 【SDGs 17の目標】
- 1 貧困をなくそう
 - 2 飢餓をゼロに
 - 3 すべての人々に健康と福祉を
 - 4 質の高い教育をみんなに
 - 5 ジェンダー平等を実現しよう
 - 6 安全な水とトイレを世界中に
 - 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 - 8 働きがいも経済成長も
 - 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 - 10 人や国の不平等をなくそう
 - 11 住み続けられるまちづくりを
 - 12 つくる責任 つかう責任
 - 13 気候変動に具体的な対策を
 - 14 海の豊かさを守ろう
 - 15 陸の豊かさも守ろう
 - 16 平和と公正をすべての人に
 - 17 パートナリシップで目標を達成しよう

こととして「食べ物を残さない」「水を大切に使う」「鉛筆を最後まで使い切る」というようなことが挙がっていました。また、「みんなと仲良くする」という意見も聞かれました。

20年、30年、40年後の未来を担う子どもたちですから、世界の課題を解決するために、できることを少しでも実践してほしいと思います。そのためには、私たち大人が、子どもの手本となるように行動しなければならないと感じました。

家庭で実践してこそ(5年生)

12月11日(月)に5年生が、家庭科でみそ汁づくりの計画を立てました。既に、基本的なみそ汁の調理実習を行っています。その発展として、今回は家族のためにどんなみそ汁を作ることができるのかを考えました。学級担任と栄養教諭が協力して指導を行い、だし、みそ、みそ汁の実について子どもたちが自由に選択をしてバランスのよい組み合わせになるようにアドバイスをしました。家族の好みなども考えながら、子どもたちは計画を立てていました。



「家庭科」ですから、家庭で実践することに意義があると考えています。私も5年生のとき、家庭科で学習したことを生かして、家で野菜炒めを作ったことを覚えています(それ以来、調理には結構自信があります)。包丁や火を使うので、安全には十分気を付けなければなりません。が、「食」に対して興味のある子は多いと思いますので、調理の経験をどんどん積んでいけるよう、ご協力をお願いいたします。

